

# 令和5年度 奨学生募集要項

## 1. 奨学金の性格

給与奨学金（返還の義務はありません）

## 2. 給与金額

大学奨学生 20,000円/月

大学院奨学生 20,000円/月

## 3. 応募資格

① 東京都にある大学又は大学院で理工学を学ぶ者

② 健康でかつ学業の成績が優秀な者

③ 経済的理由により学費の支弁が困難である者

世帯合計年収上限は1000万円、500万円以上1000万円以下は願書奨学金志望の理由欄に学費支弁が困難な理由を記入すること。所得の種類、金額、世帯構成、進学形態、家庭の事情などをすべて考慮する。

④ 本会が主催する行事に出席できる者

(1) 奨学生生活状況報告会 5月

(2) 奨学生の集い 9月24日(日)予定

⑤ 奨学金支給開始までにゆうちょ銀行口座を用意できる者

## 4. 対象学年

大学生 : 令和5年4月に2年次生から4年次生として在学する者

大学院生 : 令和5年4月に修士1年次生又は2年次生として在学する者

## 5. 募集人数（追加募集）

8名

## 6. 奨学金の支給期間

奨学金の支給期間は、原則として在籍する学部の最短修業年限になります。

## 7. 奨学金の支給方法

奨学金は、3ヶ月分を併せて年4回本会の指定月（4月、7月、10月、1月）に本人名義のゆうちょ銀行口座へ振り込みます。（奨学生採用後の最初の支給につきま

しては、1回目と2回目を併せて7月に行います。)

## 8. 応募するための必要書類 (PDF 可)

- ① 連帯保証人と連署した奨学生願書、及び写真（最近6ヶ月以内に撮影のもの、上半身・正面・脱帽）
- ② 在学する学長または学部長の推薦書
- ③ 成績証明書
- ④ 所得証明書（源泉徴収票令和4年分もしくは課税証明/非課税証明書令和3年度分）
- ⑤ 小論文

課題A Bのうち、どちらかを選択して小論文を書いて下さい。

字数制限：原稿用紙2枚以上3枚以内

原稿用紙：本会指定の原稿用紙に自筆で作成のこと

### 課題A 「あなたの将来と日本の将来」

序文：近年、日本の科学力・技術力の急激な低下を懸念する人が多い。新型コロナウイルス感染症のワクチン・治療薬の開発においても他の先進国に対して大幅に遅れ4年経った今でも日本からの同様製品の発表が世界的になされたというニュースを聞いたことは無い。給料に関しても例外ではなく、ITエンジニアの平均給与は1位がスイスの1,048万円、2位アメリカ：880万、7位ドイツ：654万、10位シンガポール：591万、日本：18位で543万となっている。しかも日本の初任給は過去20年間据え置きであるという（・・・すべての面で日本が停滞している証拠なのか？）。さらに大学卒業後10年以上の経験を持つエンジニアの中途採用年収を見ると愕然とするものがある・・・その世界最高はアメリカ、カリフォルニア州クレアモント市在の名も知れないHarvey Mudd College 卒で\$162,500 (2,000万円以上)となっている。

課題：今諸君は科学・技術系の大学（院）生としてそれぞれ将来への大きな夢を抱き勉学に邁進していることと思う。上述の日本の国状も鑑み、あなたの将来の夢をここに小論文として改めて書き記すことも有意義であろう、本当に実現可能なのだろうか？実現化するための具体案も含めて書き記してください。（例えば卒業後すぐに希望する企業に就職してその夢を追う、or、大学院に進学しより高度な専門知識を得る、or、人生を賭けて海外に飛び出し活躍する、or、・・・などなど）、さらに今後日本の将来はどうなって欲しいか？日本国はどうすべきかについても一言記してください。

### 課題B 「日本における教育、研究環境の外国との比較」

わが国の大学での教育、研究の多くは日本語で行われており、そのため世界への発信力が弱く、外国での評価が低くなっているという論調がある。

外国の多くの国では自国語による教科書が乏しいため、勉学の場で英語の教科書が使われている。また、国内に学会などの組織が乏しいため、研究発表は若いときから世界規模の学会で英語によって行うことになる。

これに対して、わが国では多くの学問分野で日本語の教科書が完備しており、また国内にそれなりの規模、レベルの学会組織があるので、勉学や研究発表に英語を用いる機会も必要性も少ない。結果として活動が国内に閉じたものになりがちで、外国への発信力が乏しくなっている。

外国での評価が低いのはこうした構造的な問題によると考えられる。

こうした状況と自分自身の勉学、研究状況とを対比して、外国への発信力をどのように確保していくべきかを論じられたい。

## 9. 出願方法

- ・本人からの直接応募は受け付けておりません。
- ・在学する大学の学長または学部長の推薦を受けて下さい。
- ・推薦書及び必要書類は、奨学金担当窓口より本会事務局宛に送付して下さい。

【応募先】 〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1  
公益財団法人オーディオテクニカ奨学会 事務局

- ・新しい生活様式に対応し応募書類の緩和措置を講じます。  
書類原紙ではなく PDF データ等での提出も可とする  
成績証明、所得証明等の個人情報を含むためパスワード設定のうえ  
奨学会メールアドレス [zaidan@audio-technica.co.jp](mailto:zaidan@audio-technica.co.jp) へ送信

## 10. 出願期間（追加募集）

- ・令和5年5月11日から令和5年5月24日迄
- ・応募書類は、締切日(5月24日)までに本会に到着したものを有効とします。
- ・締切日を過ぎての到着分、及び提出書類に不備があるものは無効とします。
- ・提出書類の返却は行いません。

## 11. 選考・採用方法

一次選考：書類・小論文審査 5月25日(木)

二次選考：面接 5月30日(火)

面接選考は令和5年5月30日（火）オーディオテクニカ（文京区/テクニカハウス）において実施する予定です。面接時刻詳細については、面接対象者に通知します。面接を欠席されますと失格となりますのでご注意ください。

## 12. 採用通知

結果は、在学学長または学部長を通じて本人に文書で通知します。

## 13. 奨学金の停止又は打ち切り

奨学生が次の各号の一に該当した場合は、奨学金を停止する又は打ち切ることがあります。

- ① 傷病のため成業の見込みがなくなったとき
- ② 学業成績\*又は性行が著しく不良になったとき
- ③ 奨学金を必要としない理由が生じたとき
- ④ 奨学生として適当でない事実があったとき
- ⑤ 在学学校で処分を受け学籍を失ったとき
- ⑥ 重要な事項に変更があった場合の届出義務を怠ったとき
- ⑦ 奨学生としての資格を失ったとき

\*学業成績の著しい不良とは、進学するために必要な常識的な単位数を取らなかった場合のことをいう。

#### 14. その他

他奨学金等との併願、併給も可能です。

以上

公益財団法人オーディオテクニカ奨学会

〒194-8666 東京都町田市西成瀬 2-46-1

<https://www.audio-technica.co.jp/corp/foundation/>

**【事務局】**

お問い合わせ TEL：(042)739-9171 FAX：(042)739-9110

電話受付 平日 9:00～12:00 13:00～17:00（土・日・祝を除く）

お問い合わせ Eメール：zaidan@audio-technica.co.jp